

能見建設株式会社

2020年度 環境経営レポート

(対象期間:2020年6月1日～2021年5月31日)



発行日: 2021年9月19日

改訂日: 2021年11月4日

ごあいさつ

能見建設株式会社は、兵庫県中北部を活動範囲とし、建設業と産業廃棄物収集運搬業を営む企業です。昭和56年の創業以来、多くのお客様から絶大なる信頼とご支援を賜りながら堅実な経営を営み、お陰様で38年を迎えました。

この度弊社は、エコアクション21に基づく環境経営システムを構築し運用開始することによって、地球環境に優しい企業として、新たな一步を踏み出しました。

これを全社員に周知徹底し、環境意識を高め、継続的に環境負荷の低減に取り組んで行くことを宣言します。

環境経営方針

弊社は、土木・建築・解体工事請負・産業廃棄物収集運搬業を主とする事業活動によって、快適で活力ある社会の実現を目指しておりますが、それと共に美しい自然、豊かな資源をも共に次世代に手渡す責務を負っております。

また、2015年、国連で採択された「持続可能な開発目標」(SDGs)の17の目標のうち、建設業である弊社は、発注者や取引先とともに、特に

- ・気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策をとる
- ・強靱なインフラを整備し、包括的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る
- ・陸上生態系の保護、回復及び持続可能な利用の促進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止及び逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る

に全社一丸となって注力し、地球温暖化の防止、循環型社会の構築など、具体的そして能動的に環境への取組を進めてまいります。

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守する。
2. 二酸化炭素排出量の削減を推進する(電気、ガソリン、軽油、灯油)。
3. 廃棄物の3R(減量、再利用及び再生利用)を推進する。
4. 水道使用量の削減を推進する。
5. 環境配慮型製品の調査研究及びそれらを使った構築物の積極的な提案を推進する。
6. この環境方針は全従業員に周知する。

制定日： 2011年6月20日

改定日： 2020年6月30日

能見建設株式会社
代表取締役 能見信之

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

能見建設株式会社
代表取締役 能見信之

(2) 所在地

本社(登記上) 〒679-3301 兵庫県朝来市生野町口銀谷317番地30
事務所 〒679-3301 兵庫県朝来市生野町口銀谷261番地34 ハイツ和泉107号
倉庫・資機材置場 〒679-3302 兵庫県朝来市生野町円山字ソリ327番地1

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者	代表取締役 能見信之	TEL:079-679-3254 e-mail: n-nohmi@nohmi-const.jp
担当者	取締役 能見悦子	TEL:079-679-3254 e-mail: nqj30355@nifty.com

(4) 事業内容

法人設立年月日 昭和64年1月4日
資本金 12,000,000円

建設請負業

兵庫県知事許可 般1 第600714号 令和2年2月10日許可
有効期限 令和7年2月9日

(土木一式、建築一式、とび・土工、大工、左官、石、屋根、管、タイル・れんが・ブロック、
鋼構造物、鉄筋、舗装、しゅんせつ、板金、ガラス、塗装、防水、内装仕上、
熱絶縁、建具、水道施設 各工事業)

産業廃棄物収集運搬業(事業区分:収集運搬業(積替え・保管を含まない))

兵庫県知事許可 第2807085425号 平成29年6月3日許可
有効期限 令和4年6月2日

許可品目: 廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類

一般廃棄物収集運搬業

南但広域行政事務組合許可 第12号 令和2年11月19日
許可区域: 養父市内・朝来市内
有効期限 令和4年3月31日

(5) 事業の規模

	本社	事務所	資材倉庫	資機材置場	合計
従業員	1名	2名	無人	無人	3名
延べ床面積	9㎡	77㎡	63㎡	471㎡	620㎡

建設業 年間完成工事高 54百万円（令和2年度 税抜き）

産業廃棄物収集運搬業 （各案件の建設工事と一括請負、令和2年度）

収集運搬量 507.34 t
運搬車輛 4 t ダンプトラック 1台
 3 t ダンプトラック 1台
 軽トラック 1台
積替・保管施設 なし
収集運搬料金 個別見積もりによる

一般廃棄物収集運搬業 （各案件の建設工事と一括請負、令和2年度）

収集運搬量 12.88 t
運搬車輛 4 t ダンプトラック 1台
 3 t ダンプトラック 1台
 軽トラック 1台
積替・保管施設 なし
収集運搬料金 個別見積もりによる

(6) 事業年度 6月1日～翌年5月31日

□ 認証・登録の対象範囲

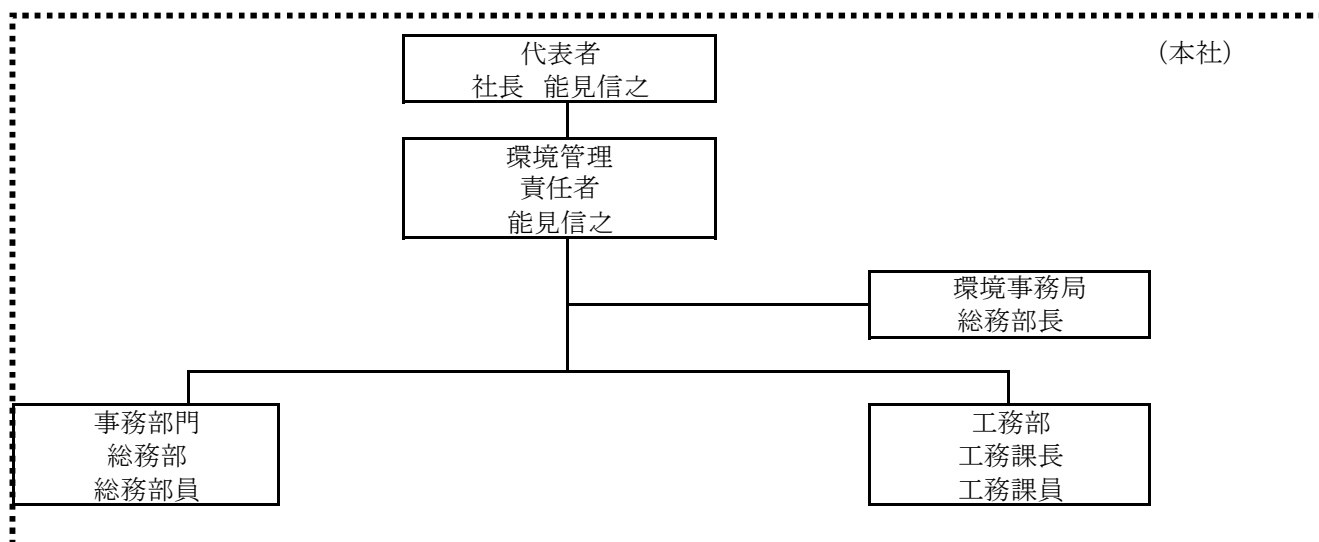
登録組織名： 能見建設株式会社

対象事業所： 本社
 事務所
 資材置場

対象外： なし

活 動： 建設請負業
 （土木一式、建築一式、とび・土工、大工、左官、石、屋根、管、タイル・れんが・
 ブロック、鋼構造物、鉄筋、舗装、しゅんせつ、板金、ガラス、塗装、防水、内装仕上
 熱絶縁、建具、水道施設、解体の各工事業）
産業廃棄物収集運搬業
一般廃棄物収集運搬業

□組織図



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理、 ・環境関連法規制等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・緊急事態対応手順のテスト、訓練の指導及び総括 ・環境経営の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営、環境経営計画書原案の作成 ・環境経営の実績集計 ・環境関連法規制等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規制等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・特定された項目の手順書作成 ・特定された緊急事態への対応のための手順書作成 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所への備付けと地域事務局への送付)
部門長	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の運用管理 ・緊急事態対応手順のテスト、訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	45,986	27,783	35,056	23,261
電力	kWh	2,593	2,763	3,177	2,777
ガソリン	L	4,307	5,260	4,220	3,391
軽油	L	3,373	5,388	9,201	5,516
灯油	L	120	110	80	0
廃棄物排出量	トン	72	407	248	248
一般廃棄物	トン	2.5	3.0	1.7	0.9
産業廃棄物	トン	69	404	246	508
総排水量	m ³	44.0	47.0	47.0	61.0
化学物質	kg	0	0	0	0
受託した産業廃棄物の処理量(収集運搬)	t	31.0	0.0	0	0
受託した一般廃棄物の処理量(収集運搬)	t	***	***	11.7	12.8

※受託した一般廃棄物の処理量(収集運搬)については、2019年度から集計を始めた。

□環境目標及びその実績

(1) 中長期目標

年 度 項 目		2016年度 基準年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
I. 二酸化炭素 排出量合計	kg-CO ₂	45,255	43,495	43,048	42,598	42,151	41,703
電力	kWh	2,777	2,749	2,721	2,694	2,666	2,638
使用量削減 (※注1)(注2)	kg-CO ₂ 対基準	1,161 (2020年度)	1,149 △1%	1,137 △2%	1,126 △3%	1,114 △4%	1,103 △5%
ガソリン	L	5,043	4,841	4,791	4,740	4,690	4,690
使用量削減	kg-CO ₂ 対基準	11,700	11,231 △4%	11,115 △5%	10,997 △6%	10,881 △7%	10,764 △8%
軽油	L	12,395	11,899	11,775	11,651	11,527	11,527
使用量削減	kg-CO ₂ 対基準	31,979	30,699 △4%	30,380 △5%	30,060 △6%	29,740 △7%	29,420 △8%
灯油	L	167	167	167	167	167	167
使用量削減	kg-CO ₂ 対基準	416	416 現状維持	416 現状維持	416 現状維持	416 現状維持	416 現状維持
II. 水使用量 削減(注)	m ³ 対基準	61.0 (2020年度)	60.39 △1%	59.78 △2%	59.17 △3%	58.56 △4%	57.95 △5%
年 度 項 目		2017年度 基準年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2024年度
III. 廃棄物排出量							
一般廃棄物 (総排出量)(a)	kg	(参考2,450)					
一般廃棄物 (1)最終処分量削減(b)	kg 対基準	1,350	1,296 △4%	1,283 △5%	1,269 △6%	1,256 △7%	1,242 △8%
一般廃棄物 (2)リサイクル率向上	% 対基準	44.90	44.90 基準と同じ	44.90 基準と同じ	44.90 基準と同じ	44.90 基準と同じ	44.90 基準と同じ
産業廃棄物 (総排出量)(a)	トン	(参考69.36)					
産業廃棄物 (1)最終処分量削減(b)	トン 対基準	7.00	6.72 △4%	6.65 △5%	6.58 △6%	6.51 △7%	6.44 △8%
産業廃棄物 (2)リサイクル率向上	% 対基準	89.92	89.92 基準と同じ	89.92 基準と同じ	89.92 基準と同じ	89.92 基準と同じ	89.92 基準と同じ
IV建設工事における 環境配慮	件 対基準	8件	8件 基準と同じ	8件 基準と同じ	8件 基準と同じ	8件 基準と同じ	8件 基準と同じ

注1) 電力の二酸化炭素排出量への換算係数は、2017年度関西電力公表の0.418kg-CO₂/kWhを使用し再計算した。

注2) 2017年6月に事務所機能を1カ所に集約した。そのため電力と水使用量の計測方法を変更した。2017年度はその基準設定のために集計を行った。2018年度以降はその集計をもとに目標値を再設定した。

(2) 2020年度の実績

年 度 項 目		2020年度における実績 (2020年6月～2021年5月)			
		目標	実績	達成度(%)	評価
I. 二酸化炭素 排出量合計	kg-CO ₂	43,836	23,259	188.5	○
電力使用量	kWh	2,515	2,777	90.6	△
	kg-CO ₂	1,051	1,161		
ガソリン 使用量削減	L	4,892	3,391	144.3	○
	kg-CO ₂	11,349	7,867		
軽油 使用量削減	L	12,023	5,516	218.0	○
	kg-CO ₂	31,019	14,231		
灯油 使用量削減	L	167	0	***	○
	kg-CO ₂	416	0		
II. 廃棄物排出量					
一般廃棄物	kg 発生量a		1,670		
	最終処分量b	1,310	968	135.3	○
	リサイクル率	44.90	95.04	211.7	○
産業廃棄物	トン 発生量a		508.34		
	最終処分量b	6.79	6.98	97.3	○
	リサイクル率	89.92	98.60	109.7	○
III. 水使用量削減	m ³	42.7	61.0	70.0	×
IV. 建設工事における 環境配慮	件	8	11	137.5	○

※注記1

※注記1

※注記1

※注記1、注記2

※注記1

※注記1

※注記1、注記2

※注記3

注)評価欄にて、○:達成(100%以上)、△:やや未達成(90%～100%未満)、×:未達成(90%未満)

※注記1 廃棄物の目標は最終処分量の削減と、リサイクル率の維持を目標とする。
総排出量は目標としない。当面、廃棄物への取り組みについては、この考えでいきたい。

※注記2 リサイクル率(%)=(総排出量a-最終処分量b)/総排出量a*100

※注記3 再生材の使用、発生材、発生残土の積極的なリサイクルの提案などを積極的に行った。

□環境活動の取り組み計画と評価

◎よくできた ○ままできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価(結果と今後の方向)
I 二酸化炭素排出量合計	◎	(目標達成) 二酸化炭素総排出量は、目標値の20.9%減。売り上げを維持しながらの達成は素晴らしいが、詳細を見ると軽油(重機、ダンプトラック)使用量の少ない工事内容が多かったことが主因である。ともあれ、エコ運転をはじめ継続した活動の結果も出ている。今後も下記の取組を継続する。
電力使用量の削減 (目標未達成)		
・空調温度の適正化(冷房28℃暖房20℃)	△	冬季の期中から灯油ファンヒーターの使用をやめてエアコン暖房に切替えたこと、夏季の猛暑が影響している。なお、こまめな消灯々々、節電意識は根付いている。
・不要照明の消灯		
・パソコン・複合機他OA機器の管理(不要時の電源オフ)	◎	休日前、不在時など長時間不使用時だけではなく終業時オフにも対応できた。今後も節減を続けたい。
		今後も一層積極的な取り組みを実施する。
ガソリン使用量の削減 (目標達成)		
・使用量の削減	◎	エコ運転が根付いている。
・不要なアイドリングストップ	◎	よくできたが、もっと意識をしエコドライブを実行する。
・適正な車輛の整備	○	全社員が注意し、報告・早期整備しているのでままできた。
・急加速・急停車の防止	◎	普段から安全運転に注意しているのでままできた。
・効率的な移動	○	無駄を省く計画性が見受けられる。ままできたが、気を緩めず次年度も計画的な移動を心がけたい。
		今後も一層積極的な取り組みを実施する。
軽油使用量の削減 (目標達成)		
・使用量の削減	◎	売上高増大の中で対目標値△56.0%と大幅減。 (1)エコ運転が根付いている (2)遠距離の現場の場合は夜間は現地に置かせてもらい相乗りで帰る配慮工夫ができています のも大きな要因だが、一番大きな要因は、軽油(重機、ダンプトラック)使用量の少ない工事内容が多かったことである。努力、工夫の効果が分かりにくい部分ではある。
・不要なアイドリングストップ	○	もっと意識をしエコドライブを実行する。
・急加速・急停車の防止	◎	普段より安全運転に注意しているのでままできた。
・適正な車輛・重機の整備	◎	全社員が注意し、報告・早期整備しているのでよくできた。
・重機の空ぶかしの禁止	◎	普段より経済運転に心がけているのでよくできた。
・重機の最高出力の80%での作業	◎	普段より経済運転に心がけているのでよくできた。
・効率的な移動	◎	かなり計画的に運航している。努力が見てとれる。
		今後も一層積極的な取り組みを実施する。

灯油使用量の削減		(目標達成)
・室温管理(20℃以下)	◎	現場事務所にも温度計を設置し管理しているのでよくできた。
・部屋開放の禁止	◎	普段から注意しているのでよくできた。
・ウォームビズの実施	◎	普段から注意しているのでよくできた。
		今後も一層積極的な取り組みを実施する。

II 廃棄物排出量の削減		解体工事など工事内容に大きく左右され、年度ごとに比べても意味がないので総排出量の数値目標は設定していない。排出量より排出物の分別の精度をいかに高めるかである。従来から廃棄物の分別は徹底しており、再生、再利用に向けた取り組みは大きな成果を上げている。今後もリサイクル率の向上に努めていきたい。
--------------	--	---

一般廃棄物の削減		(目標達成)
・最終処分量の削減	◎	昨年度から自社排出量と委託収集運搬量とを分けて集計。その結果、分別がしっかりできており、リサイクル率は100%になることが分かった。 今後も排出量を的確に把握しながら、削減とリサイクル率の維持に努める。
・リサイクル率の向上	◎	

産業廃棄物の削減		(目標達成)
・最終処分発生量の削減	○	工事内容に大きく左右されるが、分別の徹底の結果ともいえる。
・リサイクル率の向上	◎	普段から分別を徹底しているのでよく出来た。
		排出量を的確に把握しながら、削減に努める。

III 水道水使用量の削減		(目標未達成)
・節水の周知徹底	△	引き続き節水を心がける。

IV 建設工事における環境配慮		(目標達成)
・施主へのPR	◎	施工計画段階で書面で情報を提供していく方法を継続。
・メーカーからの情報収集	○	受注内容により情報収集範囲、内容が特定されるのが難点である。
		今後も継続していく。

□環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	要求事項(施設・物質・事業活動等)	評価
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物(金属くず、廃プラ、廃ガラス、廃油等)の適切な分別と処分など 契約・産廃管理表の管理、産業廃棄物管理票交付等状	遵守
騒音規制法	バックホウ、ローラー、コンプレッサー、発電機などのうち特定建設機械使用時の行政庁への事前届け出など	遵守
振動規制法	大型ブレーカー、削岩機、杭打ち機、杭抜き機などのうち特定建設機械使用時の行政庁への事前届け出など	遵守
大気汚染防止法	石綿の周辺への曝露防止	遵守
労働安全衛生法	石綿の周辺への曝露防止	遵守
フロン排出抑制法	フロン類使用の簡易点検・記録・保存、漏えい防止	遵守
	解体工事でのエアコンなどの有無確認・発注者への説明、フロンの適切な回収	遵守
建設リサイクル法	分別解体の実施、特定建設資材廃棄物の適切なリサイクル	遵守
家電リサイクル法	使用済み家電4品目の適切なリサイクル	遵守
自動車リサイクル法	使用済み自動車の適切なリサイクル	該当なし
消防法	消火器の定期点検	遵守

なお、環境法規制等への違反、訴訟、環境上の苦情等も過去3年間ありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し

当社は美しい自然環境と豊かな資源を次世代に残すための取り組みの大切さを社員全員が認識し、特に本年度からはSDGsへの取り組みを明文化し、エコアクション21に新たな決意をもって取り組んでいます。

現場については、毎朝の朝礼を通じたお互いの気づき活動、あるいはエコドライブ、分別収集などが自然な形で全員の身についてきたと感じています。

今後も勉強会などを通じ、より一層の知識習得と実践に取り組んでいきたいと思っています。

全体としては、年明けからのコロナ禍により経済先行きが不透明さを増す中、投資をなるべく抑えて、目標を設定して実行し、目標達成に向けて努力して来たことは、とても評価出来ると考えます。

項 目	見直し要否	見直し内容
環境経営方針	否	—
目標・環境経営計画	要	電気及び水使用量削減目標値を再設定すること。
実施体制	否	—
その他	否	—

見直し年月日 令和3年6月28日

代表取締役 能見信之

□環境活動の紹介



朝礼では、安全行動とともに騒音の抑制、急加速急発進の禁止も促します。もちろん後ろのクレーン車はアイドリングストップ中！



これも朝の風景。もちろん後ろのコンクリートポンプ車はアイドリングストップ中！



月一回ペースで行う安全衛生教育。災害発生時の避難方法や緊急連絡体制もここで伝えます。(この写真は冬季のもの。エアコンの温度を抑えているので全員ウォームビズで…。)



土石流対策避難訓練。定期的にこんな訓練も行います。



現場事務所には吸殻入れと消火器。朝、作業現場に出て行って夕方ここに帰ってきます。ポイ捨て厳禁！



建設機械は低騒音型、排出ガス対策型。このステッカーが目印です。



現場の土とモルタル殻が混じってしまわないように丁寧に集積します。重さは、この袋1つで1tにもなります。



木くずは飛散して周辺を汚さないようにきちんとシートがけ。搬入先は、もちろん再生施設。木くずはここでチップになって次の役目をもらいます。



安全衛生パトロール風景。このとき、残材がきちんと片付いているか、産廃の分別状況、車輛や重機の整備状況などもチェックします。道路を汚していないか、埃がたっていないかなどもポイントです。



こちらも安全衛生パトロール。最初の測量から掘削、型枠組立、足場組立、溶接、生コン打設まで95%は自社直営です。安全は、まず整理整頓から。



河川工事に入ったときに、ついでにゴミ掃除。



土木工事用製品にも、このような「地球にやさしい」製品がどんどん開発・提供されているんですねえ。我々も、もっと情報アンテナを張らないと・・・。



型枠剥離剤も環境配慮型製品を使用しています。「エコマーク」認定の有無は、資材選定の大きな基準になりますね。



節電シール その1



節電シール その2



重要書類以外は再利用の上で再生に。
シール「シュレッダーにかけたらただのゴミ！」



エアコン温度設定シール
「夏期28℃ 冬季20℃ 厳守！」



複合機シール
「用紙の大きさは合っているか?」
「再利用紙ではだめか?」



分別は まずは事務所から
「新聞 雑誌 公告 それぞれ別梱包」



もちろん工事材料の梱包も今日まで大切に保管。



地域の方とともに。リサイクルの意識は高い



地域の中学校の資源回収をお手伝い



但馬5万人クリーン作戦へのボランティア参加。
南但クリーンセンターにて。



しかしそれにしても、投棄ゴミのバリエーションと
量の半端ないこと、、、。



これは、不慮のオイル漏れなどで環境に悪影響を与えないための油水吸着剤
4000～5000円/袋 は少し高いな



夜のプラットフォームで火災訓練。



おかげさまで、このような立派な賞を頂きました。
 これは、弊社の仕事へのまじめな取組みを評価して頂いたものと思います。
 社員一同、心を新たに、これまで以上に精励いたします。

感謝状

能見建設株式会社

能見 信之 殿

あなたは安全の重要性を深く認識し現場での安全意識の高揚と安全運動推進に不断の努力を払い平成二十五年度工事において無事故無災害の成果を挙げられましたよつてここに感謝状を贈り感謝の意を表します

平成二十五年十一月二十二日

ジェイアール西日本ビルト安全衛生協力会

京都支部長

中島

克

感謝状

能見建設株式会社殿

貴社は当社工事の施工において豊富な経験に基づく優秀な技術を発揮されるとともに誠意をもってあたられ技群の成果をあげられました

これはひとえに貴社の優秀な技術と従業員の皆様のご苦勞の賜でありそのご努力に敬意を払い本状を贈り心より感謝の意を表します

平成二十五年十一月二十二日

株式会社ジェイアール西日本ビルト

京都支店長

小林 久利

本年も無事故無災害記録更新中です。これは、社員一人一人が無災害に向けて真摯に取り組んできたことによるものです。

感謝状

能見建設株式会社

能見 信之 殿

あなたは安全の重要性を深く認識し現場での安全意識の高揚と安全運動推進に不断の努力を払い平成二十五年工事中において無事故無災害の成果を挙げられました。よってここに感謝状を贈り感謝の意を表します。

平成二十六年六月二十日

ジェイアール西日本ビルト安全衛生協力会

京都支部長

中島

克

感謝状

能見建設株式会社 殿

貴社は当社工事の施工において豊富な経験に基づく優秀な技術を発揮され、ともに誠意をもってあたられ、抜群の成果をあげられました。

これはひとえに貴社の優秀な技術と従業員の皆様のご苦勞の賜であり、そのご努力に敬意を払い、本状を贈り、心より感謝の意を表します。

平成二十六年六月二十日

株式会社ジェイアール西日本ビルト

京都支店長

小林 久利

おかげさまで、翌年もいただきました！ 2年連続です！！
お伺いしますと、連続受賞はなかなかないそうです。
これからの活動に力が入ります。
ありがとうございました。
ございました。